

指摘事由

日中戦争の全期間にわたって、中国各地でこうした「作戦」が展開されたかのように、誤解するおそれのある表現である。

p.109 13-18 行

- また、中国共産党によるゲリラ戦が展開され、中国各地に抗日根拠地が形成されていった。そのため日本軍は、都市と鉄道を支配するものが精一杯となった。そこでこの根拠地に対して、日本軍は、焼
- 15 きつくす、殺しつくす、奪いつくす作戦をおこない、中国側に大きな被害をもたらした。これは、「三光（さんこう 焼光・しょうこう 殺光・さっこう 搶光）」として非難をあびた。

また、華北の農村地帯では中国共産党軍が抗日根拠地（^{こんきょち}解放区）
 を拡大し、ゲリラ戦を展開した。そのため日本軍は、都市と鉄道を
 15 支配するのが精一杯となった。とくに、1940（昭和15）年に中国共
 産党軍が大攻勢に出て、日本軍が大きな打撃を受けると、日本軍は
 報復として、抗日根拠地・農村に対し、「焼きつくす、殺しつくす、
 奪いつくす」作戦をおこない、中国側に多大な被害を与えた。これ
 は中国側から「^{さんこう}三光（^{しょうこう}焼光・^{さっこう}殺光・^{そうこう}搶光）作戦」として非難をあび
 20 ることになった。